説明書 No. SRF1008-150611

⚠ 注　意

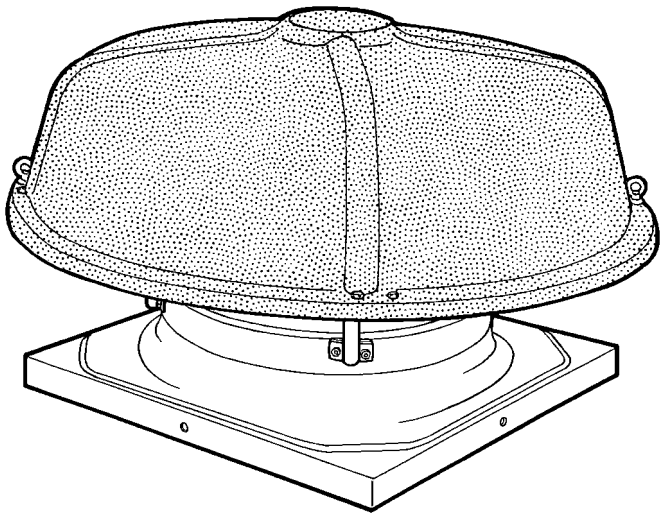
現品が注文通りの製品かどうか確認する。
＊間違った製品を使用すると、爆発や破損によるケガや火災、事故の恐れがあります。

Suiden

屋上換気扇　強制換気＆自然換気

Fシリーズ　（標 準 型）
FLシリーズ（低騒音型）
FCシリーズ（防 食 型）
FEシリーズ（風圧シャッター型）
FNシリーズ（自 然 換 気 型）

取扱説明書



もくじ

1	安全のために必ずお守りください……	1
2	仕様……	5
3	各部の寸法……	7
	1. 本体の寸法 ……	7
	2. 架台の寸法 ……	7
4	各部の名称……	9
5	架台、袴の施工例……	10
6	電源への接続……	11
	1. モータリード線と電源ケーブルの接続…	11
	2. 電源への接続 ……	12
	3. 吸気仕様への変更 ……	13
7	こんなときは(故障かな？と思ったら)…	14
8	自然換気型を強制換気型にする……	15
9	安全のための点検のお願い……	18
10	アフターサービスと保証について……	19
＊	アフターサービスのお申し込みについて…	19

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド〈Suiden スイデン〉製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。ご使用の前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

日本国内交流電源仕様

株式会社スイデン

1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、⚠危険・⚠警告・⚠注意の3つに区分しています。
しかし、⚠注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

⚠危険： 取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。

⚠警告： 取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意： 取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

注記： 警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		△記号は、危険を告げるもの、または警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な危険事項や、注意事項を描いたものもあります。（左図は感電危険）
		⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項を描いたものもあります。（左図は分解禁止）
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項を描いたものもあります。（左図はアースする）

●製品仕様への注意事項

⚠ 危 険

必ず設置建屋の雰囲気に適合した機種を設置する。
＊爆発性ガスや可燃性ガスなどを取扱う建屋では、防爆型を設置してください。
　防爆型以外の機種を設置すると、爆発による死亡やケガ、火災の恐れがあります。
＊腐食性ガスや液体を取扱う建屋では、防食型を設置してください。
　防食型以外の機種を設置すると、腐食による本体落下などによるケガや事故の恐れがあります。

⚠ 注 意

決められた製品仕様以外で使用しない。
＊漏電・感電・火災・爆発などの原因になります。

●搬入・移動上の注意事項

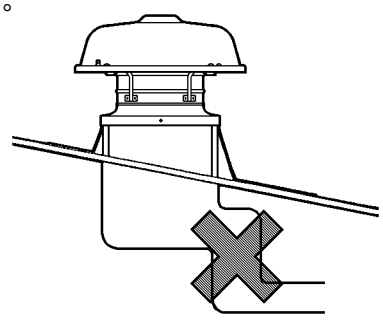
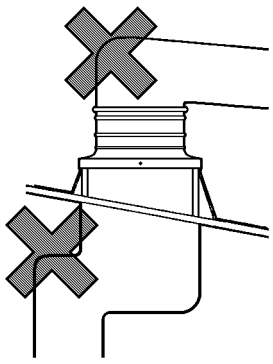
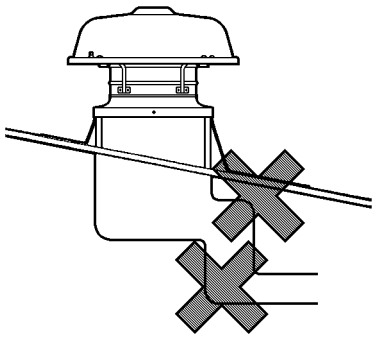
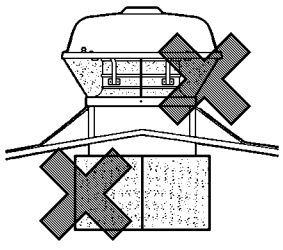
⚠ 危 険

送電線・配電線の近くでクレーンを使用した搬入・設置・取替え工事をする場合は、必ず電力会社に連絡する。
＊感電の危険があります。
　電力会社では、安全に作業できるように無料で相談を受けられます。

本機を、屋根の上で人手により運搬する場合は、充分な足場を確保する。
＊作業者の転落や、本機の落下などにより、死亡事故やケガの恐れがあります。

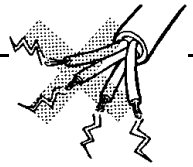
⚠ 注 意	
搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 ＊落下・破損などによりケガの原因になります。	人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 ＊腰を痛める原因になります。

●設置の際の注意事項

⚠ 注 意	
設置工事・電気配線工事は、専門業者もしくは有資格者が行う。 ＊素人工事は、事故やトラブルの原因になります。	安定した足場を確保して設置する。 ＊転落してケガをする恐れがあります。
充分な強度のある場所に設置する。 ＊本体落下によるケガや事故の原因になります。やむを得ず強度の弱い場所に設置する場合は、充分な補強工事を施した後､設置してください。	振動のある場所に設置しない。 ＊共振を起こして、落下・破損など事故の原因になります。
温度の高い場所に設置しない。 ＊モータ焼損による火災や故障の原因になります。使用雰囲気温度範囲は0～40℃です。40℃を超える場所には、耐熱型(別注品)を設置してください。	湿度の高い場所には、防食型を設置する。 ＊本機の使用雰囲気湿度は、45%～80%です。使用範囲外の場所に本機を設置すると、火災・漏電・故障の原因になります。
本機および取付け架台は、ボルトや溶接でしっかりと固定する。 ＊強風による落下事故や、ボルトのゆるみによる振動音の原因になります。	繊維工場で設置工事を行うときは、火気に気をつける。 ＊綿くずなどは引火しやすく、火災の恐れがあります。
ダクト配管して使用するときは、吸気側・排気側ともに、設置機種の開口面積(断面積)より小さい断面積のダクトは使用しない。 ＊異常過熱による火災や故障の恐れがあります。 	ダクトは吸気方向直前や、排気方向直後で急激に曲げて設置しない。 ＊異常過熱による火災や故障の原因になります。 
ダクトを極端に何回も曲げない。 ＊異常過熱による火災や故障の恐れがあります。なるべく直線に近い状態で製作してください。 	吸気側や排気側にフィルターを取付けない。 ＊異常過熱による火災や故障の原因になります。やむを得ずフィルターを取付ける場合は、当社営業マンにご相談ください。 

●配管・配線上の注意事項

⚠ 危　険



活線状態で作業しない。
＊感電や火災の危険があります。

⚠ 注　意

配線工事は、電気設備技術基準や、内線規定に従って、安全確実に行う。
＊接続不良や誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

保護装置を必ず設置する。
＊過電流保護装置は、電気設備技術基準により取付けが義務付けられています。
モータ焼損による火災や破損を防止するため、過電流保護装置以外の保護装置（漏電遮断器など）も設置されることを推奨します。
本機に保護装置は付属していません。

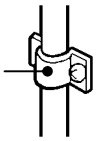
電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。
＊電源ケーブルが破損し、爆発・火災・感電の原因になります。

湿気の多い建屋には、漏電ブレーカーを設置する。
＊故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

他の電気器具と電源を併用する場合は、電源の容量を超えないようにする。
＊分岐部が異常発熱・爆発・発火することがあります。

電源ケーブルは、指定の公称断面積以上のものを、指定の長さ以内で使用する。
＊容量不足のケーブルを使用すると、ケーブルが発熱して火災の危険があります。

モータ保護装置の設置の際は、
接続ケーブルをコード押さえ
などで確実に固定する。

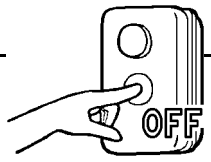


＊漏電や、ショートして火災の原因になります。

●試運転・運転の際の注意事項

⚠ 危　険

停電したときは、必ず電源スイッチを切る。
＊復帰時にケガの恐れがあります。



⚠ 警　告

定格電圧内で使用する。
電源100V機種は、100V±10%．電源3相200V機種は、200V±10%
＊感電や、ショートして発火・爆発の原因になります。規定の電圧以外の電圧をかけないでください。

動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源を遮断し、電気工事施工店に必ず点検修理を依頼する。
＊感電・漏電、ショートなどによる爆発・火災の恐れがあります。

濡れた手で、電源プラグやスイッチ、配線などの電気回りを触らない。
＊感電やケガをすることがあります。

ハネが回転中に、本機に指や髪の毛を近づけない。
＊回転中のハネで指が切断されたり、重大なケガになります。

ハネが回転中に、器物を差込んだり、当てたりしない。
＊差込んだ物が壊れたり、ハネの変形などにより、事故の原因になります。

本機およびダクトにぶら下がったり、物を吊るしたりしない。
＊ケガをすることがあります。

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
＊ケガ、やけど、絶縁劣化による感電・漏電・爆発・火災の原因になります。

⚠ 警　告	
電源ケーブル・電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 ＊感電や、ショートして爆発・発火の原因になります。	電源ケーブルは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 ＊ケーブルが発熱して爆発や火災の危険があります。必ず伸ばした状態で使用してください。
電源ケーブルに重い物をのせたり、挟み込まない。 ＊電源ケーブルが破損し、爆発・火災・感電の原因になります。	電源プラグにピンやゴミを付着させない。 ＊感電や、ショートして爆発・発火の原因になります。

⚠ 注　意	
本機に異常が発生した場合は、すぐに運転を停止し、電源を遮断する。 ＊感電・ケガ・火災の恐れがあります。	排気口をふさがない。 ＊異常過熱による火災や、やけどの原因になります。
吸気口をふさいで長時間運転しない。 ＊異常過熱による爆発・火災・やけどの原因になります。	本機の銘板およびモータの銘板は、常によく読めるようにする。 ＊取外さないでください。
粉じんや油煙が多く発生する建屋では、必ず定期的にハネやモータを清掃する。 ＊振動による事故の原因になります。 また、モータに負担がかかり、モータ焼損を原因とした火災の恐れがあります。	

●保守・点検の際の注意事項

⚠ 危　険
保守点検の際は、必ず制御回路のブレーカーと制御スイッチを切る。 また、不注意などでスイッチを投入しないように、制御スイッチに「投入禁止」の札をつける。 ＊感電や事故の恐れがあります。

⚠ 注　意	
修理技術者以外の人は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。 ＊発火したり異常動作してケガをすることがあります。	保守点検の際は、安定した足場を用意する。 ＊転落してケガをする恐れがあります。
清掃の際は、必ず電源を遮断し、ハネの回転が完全に止まってから行う。 ＊感電やケガをする恐れがあります。	ハネ交換の際は、モータ軸のキー溝を素手で触らない。 ＊ケガをする恐れがあります。
保守点検の際は、モータを素手で触らない。 ＊運転中のモータは、表面が高温になっています。停止直後のモータに触ると、やけどの恐れがあります。	本体・ハネなどを拭く場合、タワシ・磨き砂・ベンジン・シンナーは使用しない。 ＊塗装面を剥離し、腐食やハネのバランス不良による事故の原因になります。 本体・ハネなどを拭く場合は、中性洗剤の薄め液をご使用ください。

2 仕様

仕様一覧表

型	品　番	ハ　ネ		電　源	電　動　機			質量 (kg)
		外径 (mm)	枚数 (枚)		出力 kW	極数 Poles	定格電流※A (50/60Hz)	
標準型	SRF-R40F	400	4	3相200V	0.2	4	1.5/1.5	27
	SRF-R50F	500			0.4	6	2.5/2.4	39.5
	SRF-R60F	600			0.75		4.1/5.1	59.5
	SRF-R75F	735			1.5		7.6/8.5	85.5
	SRF-R90F	890			2.2		8.8/10.4	133
低騒音型	SRF-R40FL	400	4	100V	0.15	4	1.4/1.9	27
	SRF-R50FL	500		3相200V	0.2	8	1.5/1.3	40
	SRF-R60FL	600			0.4		2.9/2.9	57
	SRF-R75FL2	735			0.75		4.9/6.1	89
	SRF-R90FL2	890			1.5		8.2/7.2	131
風圧シャッター型	SRF-R40FE	400	4	3相200V	0.2	4	1.5/1.5	31.5
	SRF-R50FE	500			0.4	6	2.5/2.4	46
	SRF-R60FE	600			0.75		4.1/5.1	67
	SRF-R75FE	735			1.5		7.6/8.5	96.5
	SRF-R90FE	890			2.2		8.8/10.4	145.5
防食型	SRF-R40FC	400	4	3相200V	0.2	4	1.5/1.5	27
	SRF-R50FC	500			0.4	6	2.5/2.4	39.5
	SRF-R60FC	600			0.75		4.1/5.1	59.5
	SRF-R75FC	735			1.5		7.6/8.5	85.5
	SRF-R90FC	890			2.2		8.8/10.4	133

※定格電流値は、屋上換気扇として(機器として)の定格電流値を設定、表示しています。モータの銘板に記載されている電流値と一致しないことがありますのでご注意ください。

型	品　番	ボディ胴径 (mm)	備　　考	質量 (kg)
自然換気式	SRF-R40FN	呼称400	ＦＲＰドームと本体ボディのケーシング部分のみで構成。 必要に応じて、ハネとモータを追加することも可能です。	19
	SRF-R50FN	呼称500		25.5
	SRF-R60FN	呼称600		34
	SRF-R75FN	呼称750		49
	SRF-R90FN	呼称900		76.5

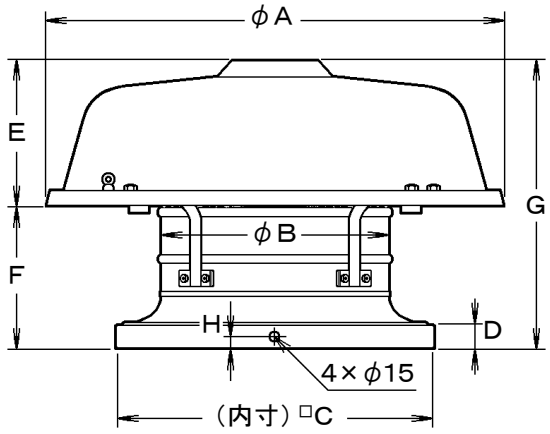
騒音・風量一覧表

型	ハネ外径 mm	周波数 Hz	騒音 dB(A)		各静圧時の風量 m^3/min						
			吸込口 1.5m	排気口 1.5m	0 Pa	20 Pa	40 Pa	60 Pa	80 Pa	100 Pa	120 Pa
低騒音型を除く機種	400	50	76	65	62	55	50	43	37	30	23
		60	79	68	69	65	62	57	52	45	38
	500	50	69	61	110	103	93	67	52	40	29
		60	74	64	121	107	100	93	85	73	56
	600	50	73	67	154	145	137	129	120	110	99
		60	77	69	178	167	160	151	143	133	122
	735	50	80	71	280	260	245	225	205	186	166
		60	81	74	310	284	270	255	245	235	225
	890	50	84	75	420	392	377	372	367	343	333
		60	88	80	480	455	441	431	421	411	402

型	ハネ外径 mm	周波数 Hz	騒音 dB(A)		各静圧時の風量 m^3/min						
			吸込口 1.5m	排気口 1.5m	0 Pa	20 Pa	40 Pa	60 Pa	80 Pa	100 Pa	120 Pa
低騒音型	400	50	58.5	55	42	30	—	—	—	—	—
		60	59	56	49	37	—	—	—	—	—
	500	50	60	53	79	73	63	46	26	16	11
		60	67	57	89	82	71	49	33	23	16
	600	50	67	56	92	87	79	64	42	28	15
		60	71	58	105	96	88	77	64	51	40
	735	50	69	62	200	183	171	157	142	122	101
		60	73	65	233	216	202	188	172	152	134
	890	50	79	69	268	250	233	220	204	189	172
		60	82	73	296	277	266	254	243	233	225

3 各部の寸法

1. 本体の寸法

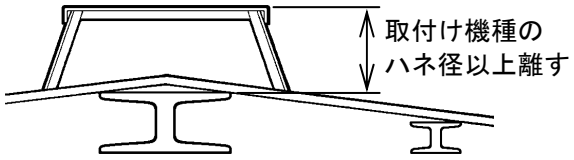


単位：mm

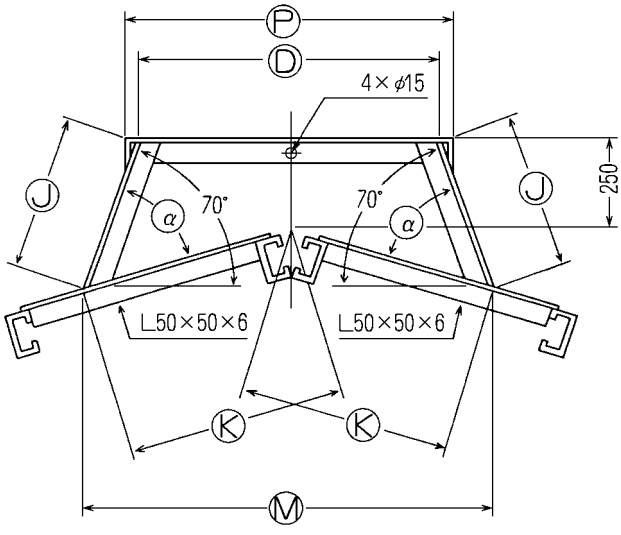
ハネ径タイプ	A	B	C	D	E	F	G	H
40タイプの機種	900	418	630	50	300	260	560	25
50タイプの機種	1040	523	710		320	315	635	
60タイプの機種	1200	623	800	55	370	330	700	
75タイプの機種	1462	773	1000	65	455	460	915	35
90タイプの機種	1775	923	1250		560	420	980	

2. 架台の寸法

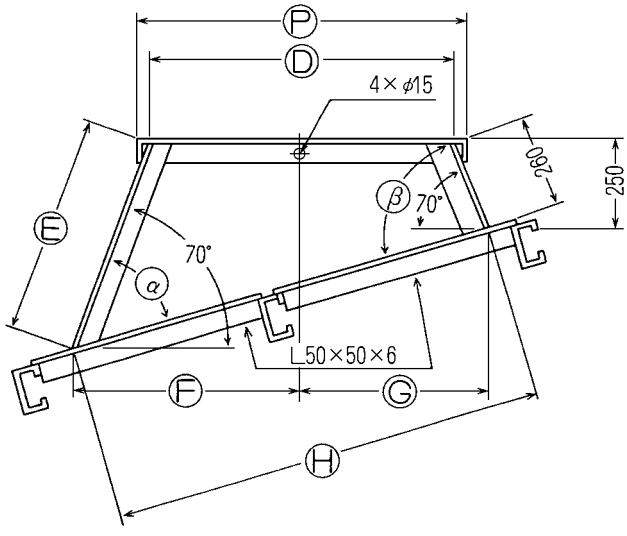
注記
①建屋の構造や、換気扇の取付け位置などにより、吸気方向の障害物を避けられない場合は、架台上端から障害物までの距離を、取付け機種のハネ径以上離して設計してください。
②架台は建屋の構造に応じて製作してください。
（下図は、参考図面です）
架台各部の寸法は、架台寸法表をご覧ください。



≪切妻施工例≫



≪片流れ施工例≫



（参考）架台寸法表

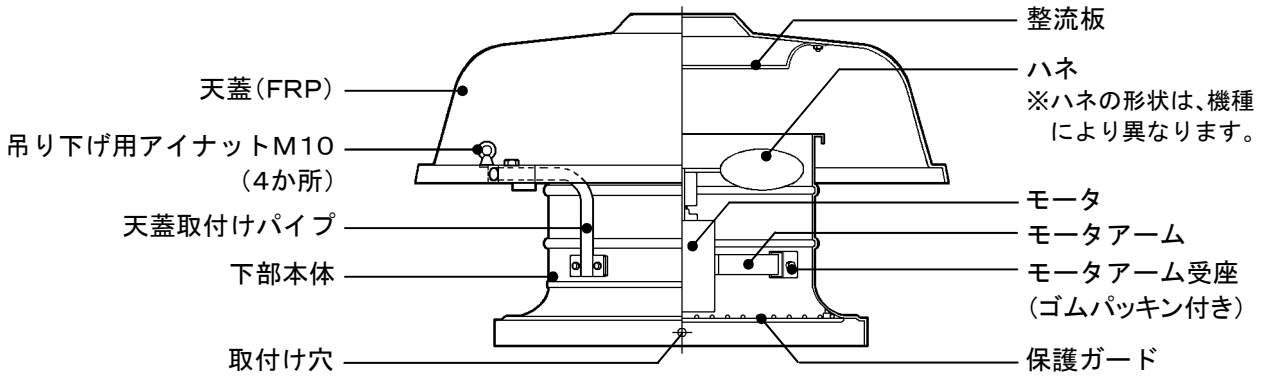
単位mm

品　番	n（10 / 勾配）	P	D	E	F	G	H	J	K	M	α	β
SRF-R40F SRF-R40FL SRF-R40FE SRF-R40FC SRF-R40FN	1.0	615	570	342	402	374	780	307	392	780	64°17′	75°43′
	1.5			386	417		800	329	402	795	61°28′	78°32′
	2.0			431	433		823	351	413	810	58°41′	81°19′
	2.5			479	449		848	373	423	825	55°58′	84°02′
	3.0			528	466		877	402	438	845	53°18′	86°42′
	3.5			579	483		908	424	456	860	50°43′	89°17′
	4.0			632	501		943	453	474	880	48°12′	91°48′
	4.5			688	520		981	482	493	900	45°46′	94°14′
SRF-R50F SRF-R50FL SRF-R50FE SRF-R50FC SRF-R50FN	1.0	695	650	351	445	414	863	314	435	865	64°17′	75°43′
	1.5			399	462		885	336	445	880	61°28′	78°32′
	2.0			450	479		911	358	459	895	58°41′	81°19′
	2.5			502	497		939	387	469	915	55°58′	84°02′
	3.0			556	515		970	417	485	935	53°18′	86°42′
	3.5			613	535		1005	446	506	955	50°43′	89°17′
	4.0			672	555		1044	475	525	975	48°12′	91°48′
	4.5			734	576		1086	504	546	995	45°46′	94°14′
SRF-R60F SRF-R60FL SRF-R60FE SRF-R60FC SRF-R60FN	1.0	785	740	361	494	459	957	314	480	955	64°17′	75°43′
	1.5			415	512		982	344	493	975	61°28′	78°32′
	2.0			470	531		1010	373	505	995	58°41′	81°19′
	2.5			528	551		1041	402	521	1015	55°58′	84°02′
	3.0			589	571		1076	431	538	1035	53°18′	86°42′
	3.5			651	593		1114	460	559	1055	50°43′	89°17′
	4.0			717	615		1157	497	582	1080	48°12′	91°48′
	4.5			785	639		1204	534	606	1105	45°46′	94°14′
SRF-R75F SRF-R75FL2 SRF-R75FE SRF-R75FC SRF-R75FN	1.0	985	940	383	601	559	1166	329	585	1165	64°17′	75°43′
	1.5			449	623		1196	358	599	1185	61°28′	78°32′
	2.0			516	647		1230	395	612	1210	58°41′	81°19′
	2.5			587	671		1268	431	634	1235	55°58′	84°02′
	3.0			660	696		1310	468	653	1260	53°18′	86°42′
	3.5			737	722		1357	504	681	1285	50°43′	89°17′
	4.0			817	749		1409	548	708	1315	48°12′	91°48′
	4.5			900	778		1466	585	735	1340	45°46′	94°14′
SRF-R90F SRF-R90FL2 SRF-R90FE SRF-R90FC SRF-R90FN	1.0	1235	1190	411	736	684	1427	344	716	1425	64°17′	75°43′
	1.5			491	763		1463	380	733	1450	61°28′	78°32′
	2.0			574	791		1504	424	750	1480	58°41′	81°19′
	2.5			660	821		1551	468	773	1510	55°58′	84°02′
	3.0			750	852		1603	512	799	1540	53°18′	86°42′
	3.5			844	884		1661	556	832	1570	50°43′	89°17′
	4.0			941	917		1724	607	864	1605	48°12′	91°48′
	4.5			1043	952		1794	658	899	1640	45°46′	94°14′

4 各部の名称

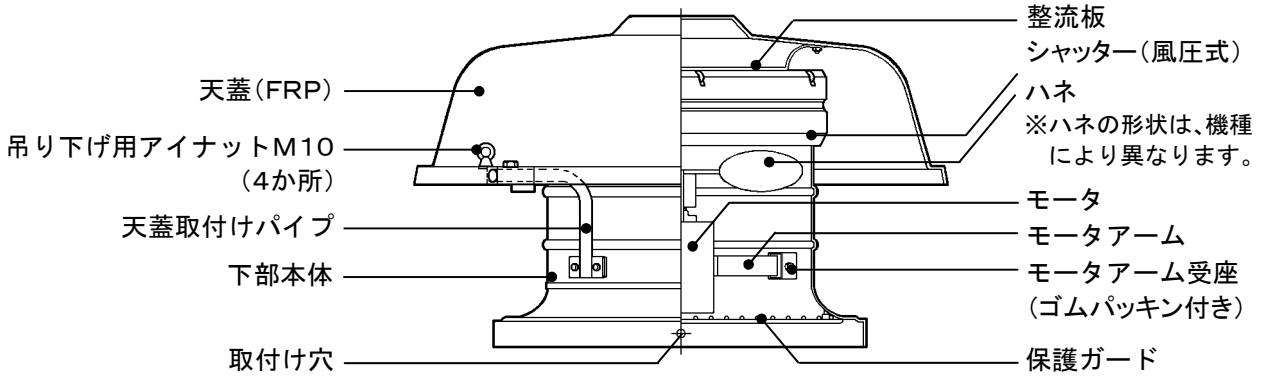
標準型(Ｆ)・低騒音型(ＦＬ)・防食型(ＦＣ)

(注)ハネ径40タイプには、整流板はありません。

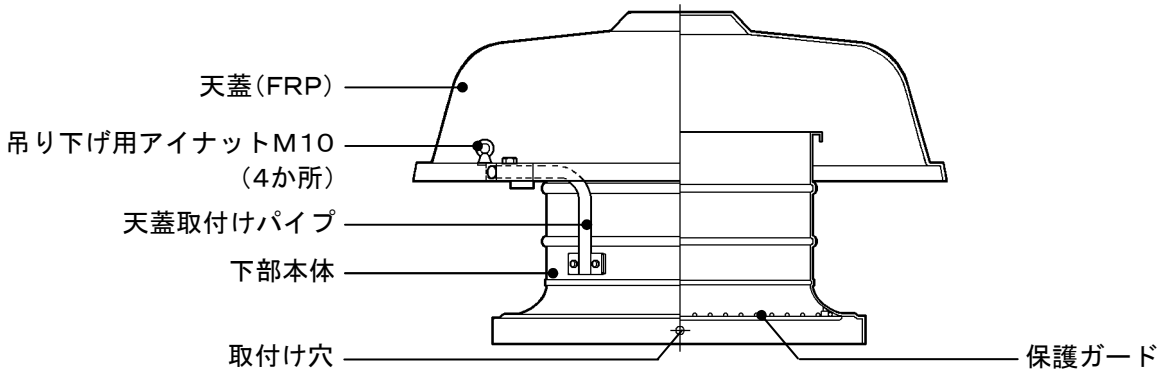


風圧シャッター型(ＦＥ)

(注)SRF-40FEには、整流板はありません。



自然換気型(ＦＮ)

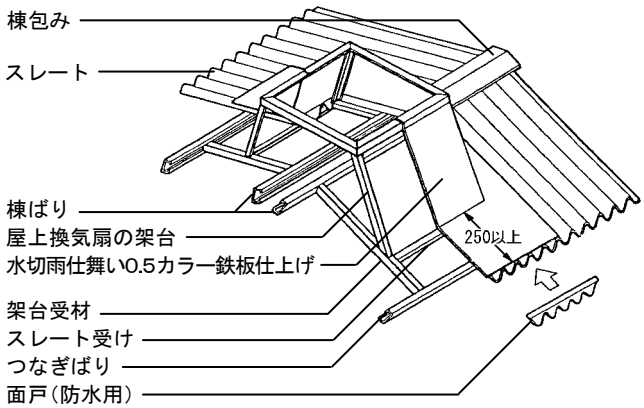


5 架台、袴の施工例

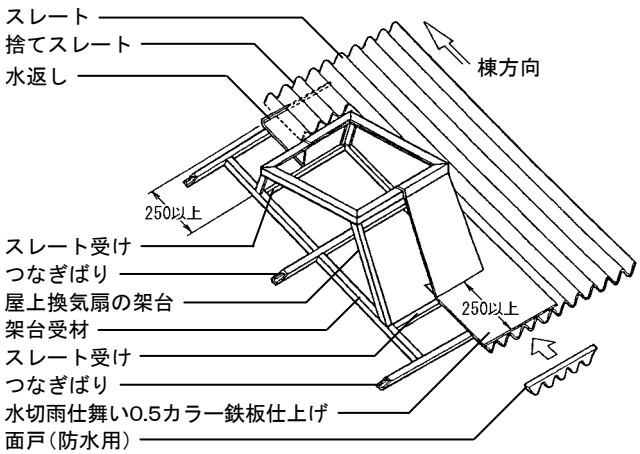
安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

注記 ①製品・架台・袴の雨じまいは、雨漏り事故防止のため、屋根材に合った面戸およびコーキング剤を使用し、ボルト穴や各接合部の防水処理を行ってください。
②当社でも施工工事を行っています。当社支店・営業所までお気軽にご相談ください。

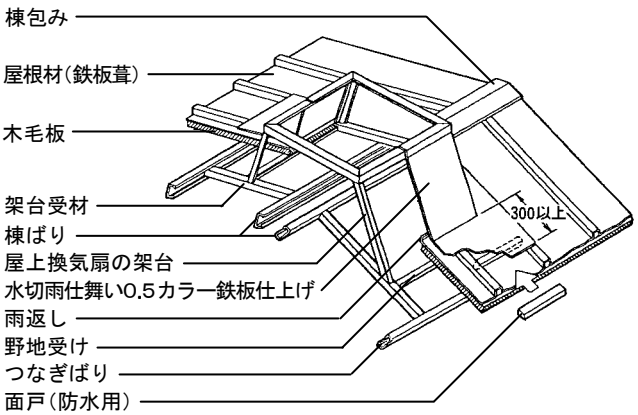
●スレート棟



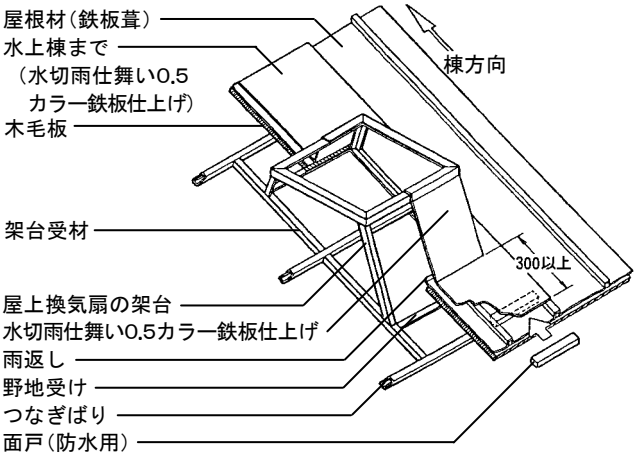
●スレート片流れ



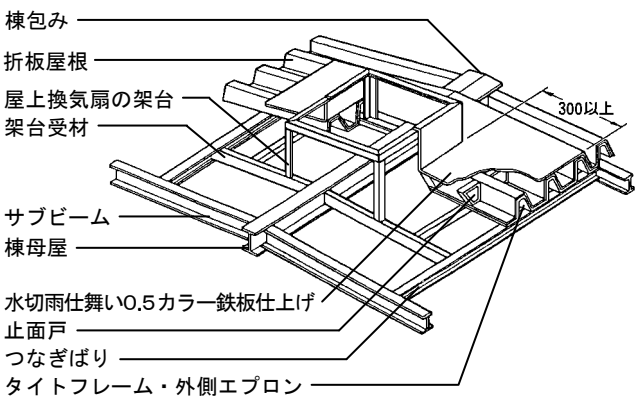
●瓦棒棟



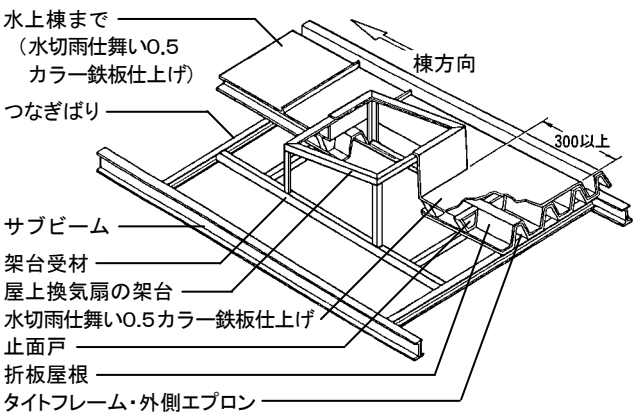
●瓦棒片流れ



●折板棟



●折板片流れ



6 電源への接続

⚠ 注 意

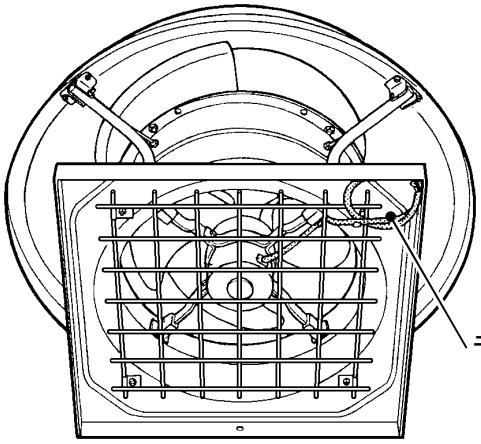
配線をする前に、3ページ「配管・配線上の注意事項」をよく読んでから、配線工事をしてください。

注記 ①換気扇のトラブルで過半数を占めるのが、3相200Vモータの欠相運転によるモータ焼損事故です。サーマルリレー付き電磁開閉器を取付け、正しく使用すれば、事故は防ぐことが出来ます。欠相運転やその他のトラブルからモータを保護するために、必ず換気扇1台につき1個のサーマルリレー付き電磁開閉器を設置してください。なお、サーマルリレーの動作復帰方法として手動リセットと自動リセットの2種類がありますが、換気扇の性質上から、手動リセット式のサーマルリレーをご使用ください。

②電流計付きの電源ボックスは、モータ焼損の原因になりますので、使用しないでください。換気扇の起動時は、運転電流の約3倍の電流が流れます。換気扇の運転・停止により、起動電流が繰り返し流れると、電流計のスケールの小さなものは断線することがあり、欠相状態や単相運転になることがあります。

1. モータリード線と電源ケーブルの接続

① 換気扇のモータリード線は、本体下部から出ています。
適応する電源ケーブルの線径(公称断面積)は、電源ケーブルの長さに応じて、下表より選定してください。



線径（公称断面積）

標準型(F)・風圧シャッター型(FE)・防食型(FC)の各機種　　単位：mm²

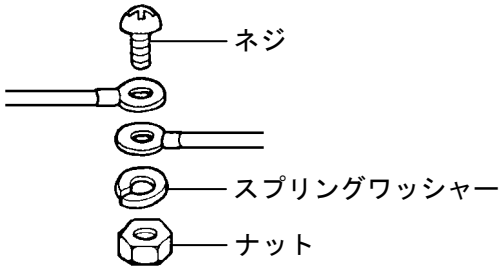
ケーブル長さ / ハネ径	10m以下	20m以下	30m以下	40m以下	50m以下	60m以下	70m以下	80m以下	90m以下	100m以下	線芯数
40cmタイプ	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	1.25	1.25	1.25	4芯
50cmタイプ	0.75	0.75	0.75	0.75	1.25	1.25	1.25	2	2	3.5	
60cmタイプ	1.25	1.25	1.25	2	2	3.5	3.5	3.5	3.5	5.5	
75cmタイプ	1.25	1.25	2	3.5	3.5	5.5	5.5	5.5	5.5	8	3芯
90cmタイプ	2	2	3.5	3.5	5.5	5.5	5.5	8	8	8	

低騒音型(FL)機種　　単位：mm²

ケーブル長さ / 品番	10m以下	20m以下	30m以下	40m以下	50m以下	60m以下	70m以下	80m以下	90m以下	100m以下	線芯数
SRF-R40FL	0.75	0.75	1.25	1.25	1.25	2	2	3.5	3.5	3.5	2芯
SRF-R50FL	0.75	0.75	0.75	0.75	1.75	1.25	1.25	1.25	2	2	3芯
SRF-R60FL	0.75	0.75	0.75	1.25	1.25	2	2	2	3.5	3.5	
SRF-R75FL2	2	2	2	2	2	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
SRF-R90FL2	2	2	3.5	3.5	3.5	5.5	5.5	8	8	8	

② モータリード線と電源ケーブルは、接続不良を防止するため、圧着端子取付けネジを使って接続するか、これに準じる確実な方法で接続してください。

③ 接続後、絶縁テープで接続部をテーピングしてください。

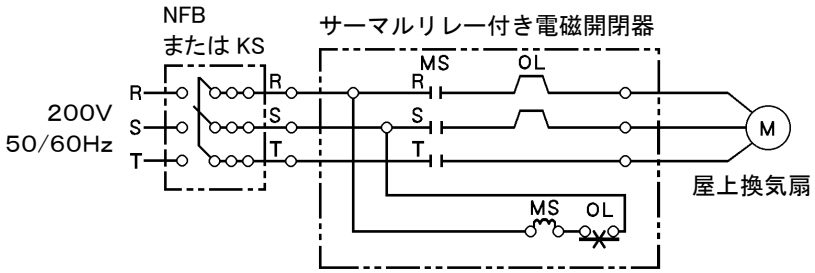


2. 電源への接続

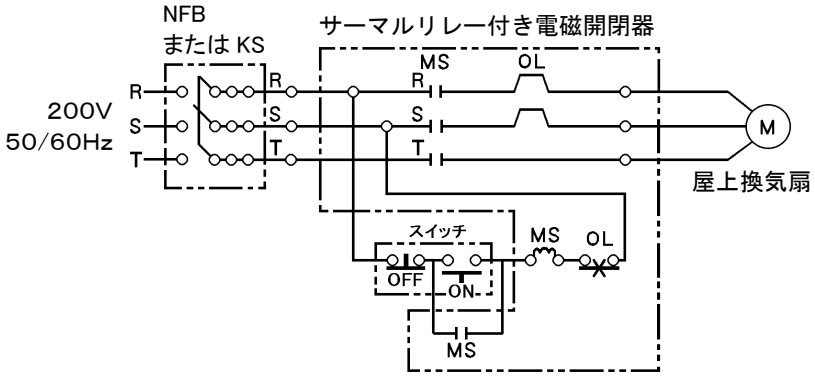
●3相200V機種

① 配線例

●ナイフスイッチで直接運転する場合



●操作用押しボタンスイッチで運転する場合



低騒音型以外の機種

ハネ径	ヒューズ容量	サーマル設定値
40cmタイプ	5A	1.5/1.5A
50cmタイプ	10A	2.5/2.4A
60cmタイプ	15A	4.1/5.1A
75cmタイプ	30A	7.6/8.5A
90cmタイプ	30A	8.8/10.4A

低騒音型

品番	ヒューズ容量	サーマル設定値
SRF-R50FL	5A	1.5/1.3A
SRF-R60FL	10A	2.9/2.9A
SRF-R75FL2	15A	4.9/6.1A
SRF-R90FL2	30A	8.2/7.2A

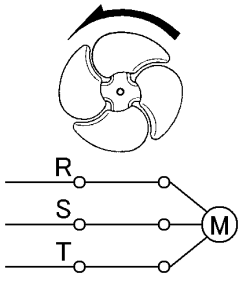
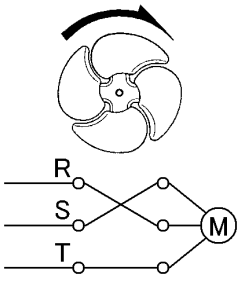
② 試運転と回転方向の確認

●電源接続後、スイッチを投入して運転してください。

●回転方向は、ハネ側から見て時計回転方向です。
逆回転しているときは、接続している3本のリード線のうち、2本を入替えて接続してください。

●必ず正しい回転方向でご使用ください。

●異常がないことが確認できれば、試運転を終わります。

逆回転	正回転
ハネ回転方向	ハネ回転方向
	

●100V機種（SRF-R40FL）■■■

7 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

注記 下記の作業は、屋根上作業・高所作業・電気知識の必要な作業です。職場に有資格者が居られない場合は、必ず専門家にご相談ください。

症　状	原　因	対　策
異常音が発生した 振動が発生した	①ハネに異物が付着していませんか？ ②ハネに亀裂が入っていませんか？ ③ハネ締付けナットがゆるんでいませんか？ ④モータベアリングが摩耗したり破損していませんか？	①ハネを清掃するか、交換してください。 ②ハネを交換してください。 ③ナットを増し締めしてください。 ④モータのオーバーホールをしてください。
スイッチを入れても始動しない	①スイッチの不具合ではありませんか？ ②電源ケーブル接続部の接触不良ではありませんか？ ③電源ケーブルが断線していませんか？ ④モータの故障ではありませんか？	①スイッチを修理または交換してください。 ②接触不良箇所を接続し直してください。 ③断線箇所を補修するか、電源ケーブルを交換してください。 ④モータのオーバーホールをするか、新しいモータに交換してください。
スイッチを入れると、すぐスイッチがトリップした	①二次側電気配線が短絡していませんか？	①点検の上、結線し直してください。
運転途中で止まった （保護装置が作動した） ●100V 機種 運転･停止を繰り返す	①ハネに異物が付着していませんか？ ②吸気側や排気側に、空気の流れの妨げになるものがありませんか？ （特にダクト配管している場合） ③電源ケーブル接続部の接触不良ではありませんか？ ④電源側のトラブルではありませんか？ （電圧降下など）	①ハネを清掃するか、交換してください。 ②空気の流れを妨げているものを取除いてください。 ③接触不良箇所を接続し直してください。 ④電源側を点検してください。

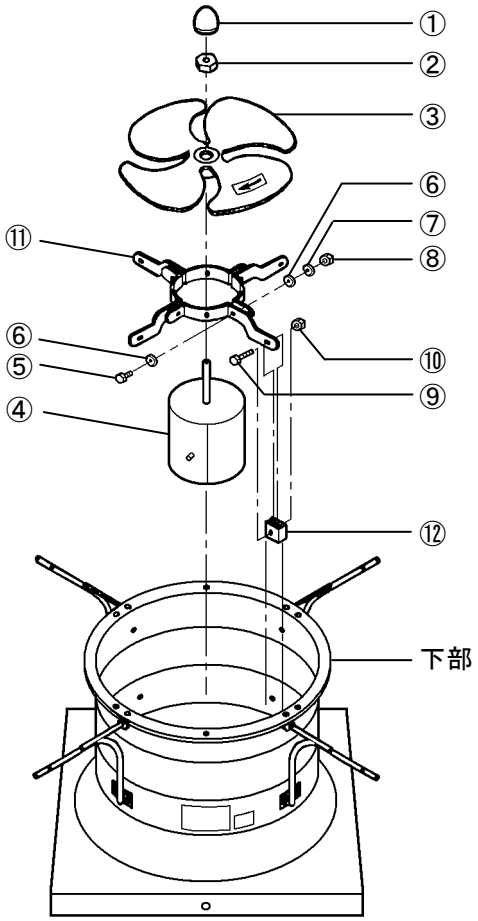
上記処置をしても症状が改善しない場合は使用を中止し、電源を切って、販売店に点検･修理をご依頼ください。
ご依頼の際は、故障内容と共に、銘板に記載している機種名をご連絡ください。

8 自然換気型を強制換気型にする

注記 各部品の組込みは高所作業になりますので、必ず専門家に依頼してください。

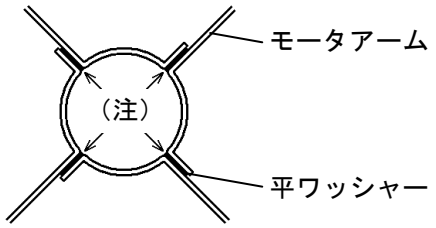
自然換気型（ＦＮシリーズ）は、設置後でも、モータとハネを組込むことにより、強制換気型に改造が可能です。
ご使用場所の作業内容の変更などで強制排気が必要になったときは、下表を参考に、必要部品をお買い求めください。
各部品組込み後の能力は、５～６ページ「仕様」の「低騒音型を除く機種」の項を参照してください。

●SRF-R40FN, SRF-R50FN



●SRF-R50FN

図番⑥の平ワッシャーを、モータアーム間にも入れて組立ててください。
（１か所３枚使用）



●SRF－R40FN

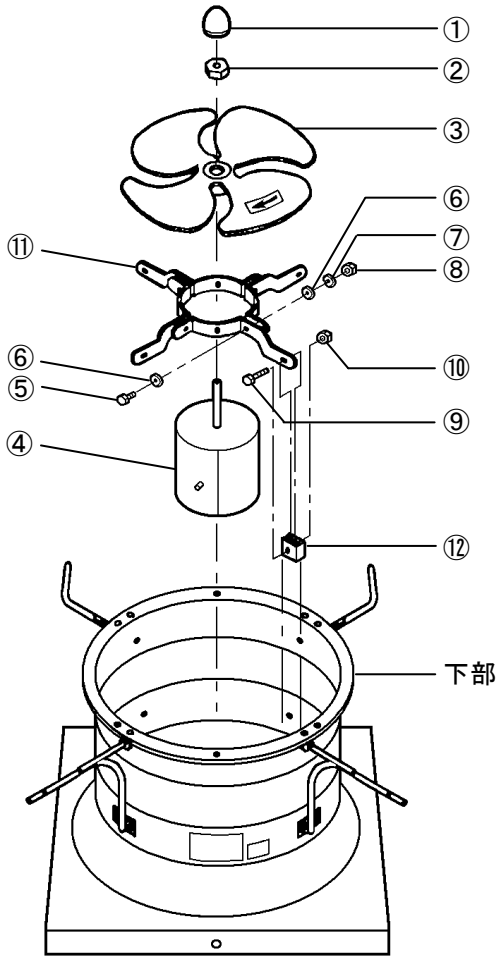
図番	部　品　名	個数
①	スピンナーキャップ（小）……	１　個
②	Ｍ10　Ｕナット……	１　個
③	ハネ……	１　枚
④	モータ（0．2kW　4P）……	１　個
⑤	Ｍ８×30六角ボルト……	４　本
⑥	φ８平ワッシャー……	８　個
⑦	φ８スプリングワッシャー…	４　個
⑧	Ｍ８ナット……	４　個
⑨	Ｍ８×35六角ボルト（SUS）…	４　本
⑩	Ｍ８コーティングナット……	４　個
⑪	モータアーム……	４本組
⑫	アーム受座ゴム（小）……	４　個

●SRF－R50FN

図番	部　品　名	個数
①	スピンナーキャップ（小）……	１　個
②	Ｍ１２　Ｕナット……	１　個
③	ハネ……	１　枚
④	モータ（0．4kW　6P）……	１　個
⑤	Ｍ８×30六角ボルト……	４　本
⑥	φ８平ワッシャー……	２０個
⑦	φ８スプリングワッシャー…	４　個
⑧	Ｍ８ナット……	４　個
⑨	Ｍ８×35六角ボルト（SUS）…	４　本
⑩	Ｍ８コーティングナット……	４　個
⑪	モータアーム……	４本組
⑫	アーム受座ゴム（小）……	４　個

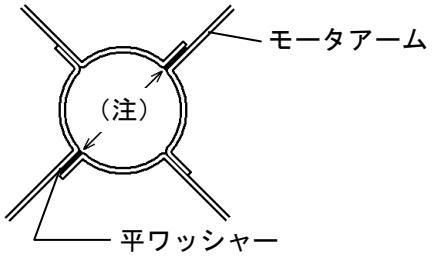
※図番⑤～⑧は、モータとモータアーム固定用ネジ類です。
※図番⑨～⑩は、下部とモータアーム固定用ネジ類です。

●SRF-R60FN



●SRF-R60FN

図番⑥の平ワッシャーを、対角上のモータアーム間に入れて組立ててください。



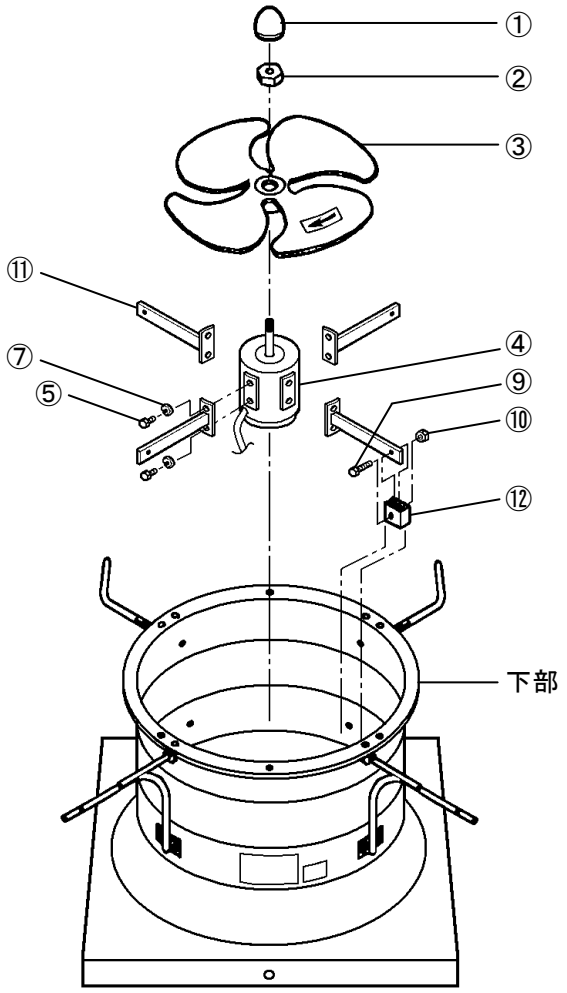
●SRF－R60FN

図番	部　品　名	個数
①	スピンナーキャップ（大）……	1　個
②	M16　Uナット……	1　個
③	ハネ……	1　枚
④	モータ（0．75kW　6P）……	1　個
⑤	M８×30六角ボルト……	4　本
⑥	φ８平ワッシャー……	１０個
⑦	φ８スプリングワッシャー…	4　個
⑧	M８ナット……	4　個
⑨	M８×35六角ボルト（SUS）…	4　本
⑩	M８コーティングナット……	4　個
⑪	モータアーム……	４本組
⑫	アーム受座ゴム（小）……	4　個

※図番⑤～⑧は、モータとモータアーム固定用ネジ類です。
※図番⑨～⑩は、下部とモータアーム固定用ネジ類です。

自然換気型を強制換気型にする

●SRF-R75FN, SRF-R90FN



●SRF－R75FN

図番	部　品　名	個数
①	スピンナーキャップ(大)……	1　個
②	Uナット（モータに付属）……	1　個
③	ハネ……	1　枚
④	モータ(1．5kW　6P)……	1　個
⑤	Ｍ８×20六角ボルト……	8　本
⑥	—	—
⑦	φ８スプリングワッシャー…	8　個
⑧	—	—
⑨	Ｍ８×35六角ボルト(SUS)…	4　本
⑩	Ｍ８コーティングナット……	4　個
⑪	モータアーム……	4本組
⑫	アーム受座ゴム(大)……	4　個

●SRF－R90FN

図番	部　品　名	個数
①	スピンナーキャップ(大)……	1　個
②	Uナット（モータに付属）……	1　個
③	ハネ……	1　枚
④	モータ(2．2kW　6P)……	1　個
⑤	Ｍ16×30六角ボルト……	8　本
⑥	—	—
⑦	φ８スプリングワッシャー…	8　個
⑧	—	—
⑨	Ｍ８×35六角ボルト(SUS)…	4　本
⑩	Ｍ８コーティングナット……	4　個
⑪	モータアーム……	4本組
⑫	アーム受座ゴム(大)……	4　個

※図番⑤、⑦は、モータとモータアーム固定用ネジ類です。
※図番⑨～⑩は、下部とモータアーム固定用ネジ類です。

9 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全確保のため、下記の点検項目に従って、定期的に保守点検を行ってください。
点検で不具合が見つかったときは、速やかに処置を施してください。
※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の人は、分解や修理を絶対にしないでください。部品の交換・点検が必要な場合は、販売店に点検・修理をご依頼ください。

点検項目	処　　置
電源ケーブルは、傷んだり変形していませんか？	電源ケーブルの交換が必要です。
電源プラグは、変形やガタがありませんか？	プラグの交換が必要です。
ハネに亀裂が入っていませんか？	ハネの交換が必要です。
ハネは腐食していませんか？	
ハネの回転バランスが狂っていませんか？	
スイッチは、正しく機能していますか？	作動不良を起こしている場合は、スイッチの交換が必要です。
本体各部は、腐食していませんか？ 腐食性液体や腐食性ガスの発生する建屋に設置している場合は、入念に点検してください。	腐食部分の部品の交換が必要です。
年に一回程度、モータの絶縁抵抗を検査してください。 規格は、１メガオームですが、実際には最低10メガオーム程度に抑えておくほうが無難です。	

※モータは密閉型ボールベアリングを採用していますので、注油の必要はありません。

●点検、清掃について

モータ、モータアーム、ハネ、下部本体は、定期的に清掃してください。

過度の汚れは、性能低下、モータ焼損、ハネ破損の原因になります。

点検・清掃中に、腐食などの不具合が見つかったときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

10 アフターサービスと保証について

⚠ 注 意

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
＊当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
＊当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
＊他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証	取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。（日本国内でご使用の場合に限ります。） ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。 また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

●本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
●本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検

★長年ご使用の屋上換気扇の点検を！

このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●運転中に異常な音や振動がある。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常がある。	▶	**お願い** **異常があればご使用を即、中止!!**	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店　名	お買い上げ年月日 年　月　日
所在地	TEL
	FAX

≪製品の廃棄について≫　本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室　フリーダイヤル **0120-285-240**
Eメールでのお問い合わせは　**info@suiden.com**

株式会社スイデン　大阪市天王寺区逢阪2-4-24　ホームページ **http://www.suiden.com**